

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, March, 2011

課長：佐藤 裕久 *H. Sato*

幹事：下元 繁男 *S. Shimomoto*

この度の東北地方太平洋沖地震により亡くなられた方々に衷心よりお悔やみ申し上げます。

また、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さらに福島原発事故により被害を受けられた方々にお見舞い申し上げます。

○ 3月の状況 (佐藤)

☆ C/2011 C1 (McNaught)

3月6日 22:52、東京都大田区の佐藤英貴氏から、彗星課メーリングリスト(以下 oaa-comet ML という。)に「今日は、C/2011 C1 と C3 の追跡観測を行いました。C1 は急速に大きく、明るくなっており、眼視光度は 11 等台に達していると思います。CCD では 3' 程度に広がったコマを見せています。ただ、天の川の中で位置観測はしばらく日々が続いています。3/5~6 は比較的星が疎な空域を動いていました。C3 も地球に接近し、かなり明るくなりました。しかし、南下し、こちらも天の川に突入しますので H06 からは最後となるかもしれません」と、C/2011 C1 に加えて C/2011 C3 の位置観測報告があった。

8日 13:31、関勉 OAA 会長から「非常に拡散しています。尾は見えません。なんだか空が白っぽく透明度はいまいちです。北からの雪雲の流れでしょうか。下の園芸の灯が邪魔をしています。…」と、7.81 日 UT に芸西天文台の 70-cm 反射×127 を使用した眼視観測報告があった。

さらに、16 日 21:27、「震災後の初観測です。…北風が強くシーイングは最悪でしたがよく見えました」と同じ器械による 15.84 日 UT の観測のほか、震災前の 10.83 日 UT の観測報告があった。

19 日 23:13、千葉県船橋市の張替憲氏から、oaa-comet ML に「103P 以降、明るい彗星がなく 2 ヶ月ぶりの報告となりました。C/2011 C1 はまだ暗く小さく、コントラスト処理をして薄い青みを帯びたやや扁平のコマがようやく確認できました。期せず大震災前日の九十九里海岸での観測ですが、当地は地震津波の大きな被害を受け余震も断続的に続いています。波打ち際から 100-m での観測は当分休止となります」とのコメントに Canon EOS X3 を使用した光度等の観測報告があった。

21 日 0:18、佐藤英貴氏から、oaa-comet ML に「…昨日、今日と満月の中いくつかの彗星の観測を行いました。C/2011 C1 は急速に明るくなり、満月下でも 3.5' ものコマを見せています。…」とのコメントといくつかの彗星について位置観測報告があった。

☆ C/2011 F1 (LINEAR)

3月19日 12:44、佐藤英貴氏から oaa-comet ML に「…このたびの震災に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。私の地元岩手も大きな被害を受け、かつて暮らしていた釜石市は壊滅に近い状態です。職場と地元の調整がつけば支援

活動に赴きたいですが、人的資源はもとより物資も足りない状態ですので、後方支援に専念すべきなのでしょうね。そうなるとしばらくリモート観測はお預けになりそうなので、気になっている天体の観測は急がなければいけません。LINEAR による発見の BY58897 は集光したコマを持つ彗星のようですが動きは遅く、軌道は不安定ですね」とのコメントと位置観測報告があった。

22 日 2:41 に発行された IAUC 9202 によると、LINEAR サーベイによって小惑星状の天体が発見され、小惑星センターの“NEOCP”に発表後、佐藤英貴氏（東京都大田区，Global Rent-a-Scope (GRAS) Observatory, Mayhill 近郊，ニューメキシコ州，0.50-m f/6.8 反射望遠鏡，

3 月 18.2 日と 20.4 日に 8”の強い集光あるコマと全光度 R18.1 等と見られた)や E. Guido と G. Sostero (GRAS 0.51-m f/6.9 反射)ら CCD 観測者によって彗星状であることがわかった。

その後、国内では 3 月 26 日 UT、埼玉県上尾市の門田健一氏は 25-cm 反射によって観測した。CCD 全光度は 17.8 等であった。

同日、芸西チームも 70-cm 反射によって観測した。CCD 核光度は 18.0 等であった。

その他明るい彗星は、103P/Hartley、C/2010 X1 (Elenin)、C/2010 G2 (Hill) 等であった。

● 眼視等観測報告

C/2011 C1 (McNaught) (写真 a)

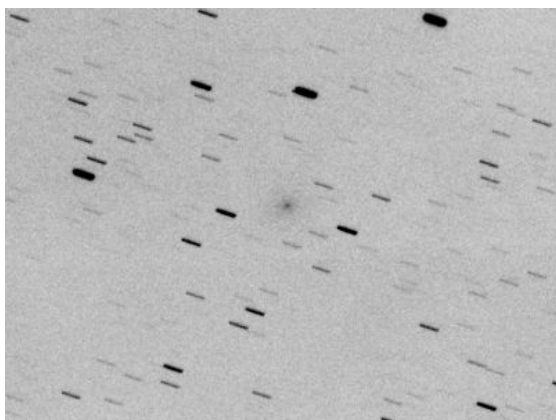
2011	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Mar.	7.81	11.7	2'	6	-	-	3/5	3/5	127×70-cmL	関勉	①
	9.81	13.2	0.8	5	-	-	4/5	3/5	EOSX3*	張替憲	②
	10.83	11.3	2.5	7	-	-	4/5	4/5	127×70-cmL	関勉	
	15.84	10.8	2.5	7	-	-	3/5	2/5	127×70-cmL	関勉	③
	31.79	10.3	1.5	6	-	-	3/5	4/5	EOSX3*	張替憲	④

29P/Schwassmann-Wachmann (写真 b)

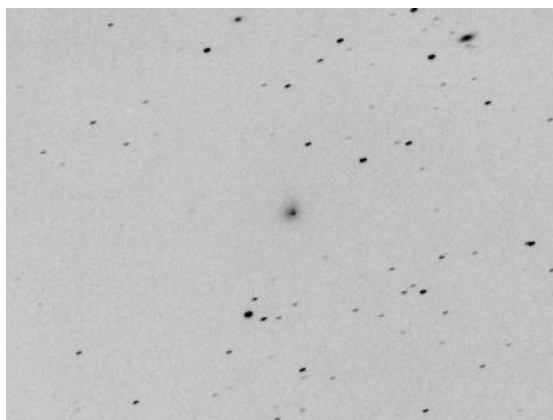
2011	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Mar.	26.51	11.9	1'	7	-	-	4/5	3/5	127×70-cmL	関勉	

- ① 拡散状、尾なし ② 100 秒露出 ③ 北風が強くシーイングは最悪
④ 160 秒露出

* 200-mm f/2.8 lens



(写真 a) C/2011 C1 (McNaught) 2011, 03, 27
 4h53.0m-5h03.0m (JST) exp. 60s×7 TOA130+CCD
 三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) 29P/Schwassmann-Wachmann 2011, 03, 31
 23h00.0m-44.5m (JST) exp. 60s×30 TOA130+CCD
 三重県伊賀市上野 田中利彦氏